

## 老年看護概論と地域・在宅看護概論のコラボレーション授業(1年生)9月

本校の、母体病院である北海道医療センターは、北海道災害拠点病院(DMAT 配備)、札幌市災害時基幹病院となっています。本校では3年次に「災害看護」を履修します。

1年生では老年看護概論、地域・在宅看護概論において、以下の内容に取り組みました。

### ★クロスロードゲーム 災害時の対応について考える力を養う

災害対応カードゲーム教材「クロスロード」は、カードを用いたゲーム形式による防災教育教材です。ゲームの参加者は、カードに書かれた事例を自らの問題として考え、YESかNOかで自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換を行いながら、ゲームを進めていきます。

ねらい：1.ブレインストーミングを通しコミュニケーション力を発展させることができる。

2.災害時に多様な選択肢を考えることができる。



参加した学生のアンケート(64名分)からは、100%の学生がクロスロードゲームは有意義であると回答。「自分の意見と反対の意見も考えることで**視野が広がった**。」「自分自身が思いつかないような意見も出て、**新しい目線が知れて勉強になった**」「改めて**自分とは全く異なる意見**を持った人が大勢いることを知った」「普段話ない人と話すことができ、**それぞれの考えが異なっていて面白かった**」「東日本大震災の時に自分たちだけで逃げた小・中学生の話聞いたことがあり、今回の授業でも大勢の意見と少数の意見でどちらの方が良いとかはないと先生が話していて、もし自分が災害の場面にあった場合どうすればよいのか**深く考えることができた**」「自分では全体にこうするだろうと思っても、違う意見の人たちもいて、理由を聞くと納得できたので**色々な考え方ができるようになりたい**と思いました」など、多くの学びの感想がありました。

## ★災害シミュレーション 地域の高齢者 40 名が本校に避難してきた。さあどうする？

ねらい：

- 1.災害対応に必要な行動や考え方を、参加者同士が協力して修得できる
- 2.高齢者に対する災害時の支援（フェーズ：急性期）を考えることができる
- 3.地域で生活している高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を考慮した、対応を考えることができる



学生のアンケートからは、「大きな災害など、まだ遭遇したことはないが様々な人の意見がきけて**自分が考えていなかった観点、対応が考えることができた**」「**高齢者の知識も活用するために力を借りる**という発想に至れなかったので、対応が難しい時こそ力を借りたいと思った」「夏休みの課題で祖父母に生活史などインタビューしていたため、高齢者の身体的特徴や身体的特徴を学ぶことができ、様々な面から**高齢者への対応を具体例を使って考えることができた**」「実際に災害が起こったと仮定して、改めて行動計画を立てたり、部屋の配分を考えたりすることで、**高齢者の配慮しなくてはいけない点について深く学ぶことができた**」などかありました。